

おわりに

2020年11月24日(日)、九州大学大学院芸術工学研究院と九州大学未来デザイン学センターとの共催で、日中デザイン会議・アジアデザイン会議が無事リモートで開催されました。

コロナ禍のもと、九州大学では、11月に毎週末リモートイベントがあり、時期的にもタイトな期間で、2つの会議の同日開催は本当に大変だったと思います。全く異なる2つのシンポジウムを1日で実施できたのは、関係者一同の多大な努力とチームワークのたまものであり、参加されたみなさま全員が満足していただける会議となったのではないかと考えています。

多様かつ複雑に刻一刻と変化する社会の諸問題を、デザイン学としてヒトを基盤とした具体的な取り組みによって多方面から解決していくための策を探り共有するため、午前の日中デザイン会議に、日本から九州大学、札幌市立大学、中国からは北京理工大学、同済大学、広州美術学院、大連理工大学、江西経済大学から発表が行われました。日本、中国における様々なデザイン学専門領域についての事例紹介があり、特に、コロナ禍のもと、デザインによる新たな生活様式をテーマに、日中各大学における教育の取り組みや国際連携、知財までも含めた実りのある多様な議論となりました。

午後のアジアデザイン会議では、九州大学の発表に加え、日本か



九州大学大学院 芸術工学研究院 教授／未来デザイン学センター長
清須美 匡洋

Kyushu University Faculty of Design Professor/President of the Center for Designed Futures
Masahiro Kiyosumi

Conclusion

On Sunday, November 24, 2020, Japan-China Design Symposium, and Asian Design Symposium were successfully held remotely, under the co-sponsorship by the Faculty of Design, Kyushu University and the Center for Designed Futures of Kyushu University.

Kyushu University has remote events every weekend in November, and with the tight time frame, it was really difficult to hold two conferences on the same day. Amid the Corona disaster, the fact that we were able to hold two completely different symposia in one day is a testament to the tremendous effort and teamwork of everyone involved, and it was indeed a conference that satisfied everyone who attended.


In order to explore and share measures to solve the various problems of society, which are diverse, complex, and ever-changing, from various perspectives through concrete human-based initiatives as design studies, Kyushu University, Sapporo City University from Japan, Beijing University of Technology, Tongji University, Guangzhou Academy of Fine Arts, Dalian University of Technology, and the Jiangxi University of Economics participated in the Japan China Design Symposium in the morning. We had presentations on various design disciplines in Japan and China. In particular, under the theme of new lifestyles through design amid the Corona disaster, we had fruitful and diverse discussions that included educational initiatives, international cooperation, and even intellectual property at the Chinese universities.

ら千葉大学、京都工芸繊維大学、アジアより、韓国・KAIST、インドネシア・バンドン大学、香港理工大学、シンガポール南洋理工大学、タイ・シラパコーン大学、台湾・台北科技大学の6大学に発表をいただき、アジアにおける、「これからのアジアにおけるデザイン学の力」の可能性を十二分に感じることができました。

今回の両会議をとおり、九州大学芸術工学研究院と未来デザイン学センターが1つの大きなハブとなって、アジアのデザインムーブメントをおこす絶好の機会となりました。

21世紀は、アジアの時代です。九州大学大学院芸術工学研究院及び九州大学未来デザイン学センターでは、今後ますますデザイン学による高度な社会創出プログラムを、九州及びアジアからぜひとも国際社会へ発信していきたいと思えます。これからも、日中デザイン会議・アジアデザイン会議は、変化を続けながら絶えず進化してゆきます。

最後に今回、中国、アジアからお忙しい中、ご参加いただいた先生のみなさま、九州大学をはじめ、芸術工学研究院の教員、スタッフのみなさまに対して、本会議を成功させるために尽力いただいたことに、この場をもってお礼申し上げます。



日中デザイン会議・アジアデザイン会議
Japan-China Design Symposium
&
Asian Design Symposium

発行/Published by

九州大学大学院 芸術工学研究院 未来デザイン学センター
〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1

Kyushu University Faculty of Design, Center for Designed Futures of Kyushu University
815-8540 4-9-1 Shiobaru Minami-ku Fukuoka, Japan

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp>

●編集/Editorial Board

張彦芳/Yanfang Zhang

鶴田美和/Miwa Tsuruta

鷹野典子/Noriko Takano

●デザイン/Design

重田デザイン工房/Shigeta Design Factory

●翻訳/Translation

Grace Kwek

(株)アンテリンク/Antelink Inc.

●写真協力/Photograph by

山中 慎太郎/Shintaro Yamanaka, Qsyum! (pp.51, 52, 57)

広瀬 麻子/Asako Hirose (pp.53, 56)

●執筆協力/Writing support

浅野 佳子/Yoshiko Asano (pp.27-28, pp.53-54)

●印刷/Printed by

株式会社ソルブ/Solve co.,ltd